

令和7年度

東海北陸社会就労センター研究協議会 「三重大会」

開催要綱

【テーマ】「住み慣れた街で心豊かに働く・くらす」

～私たちの願いを実現するために～

1. 趣旨

障害者総合支援法は、「地域生活における共生社会の実現に向けて」を大きなテーマとし、難病の方々への法対象拡大や、新たな地域生活支援事業等の総合的障害保健福祉施策が講じられ、さらに『障害のある方が自らの望む地域生活を営むことができるよう』と「就労」「生活」に対する支援の充実や、介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直し等を図るための改正が平成30年に行われ今日に至っています。

社会構造が大きく変化する中、いま改めて「共生社会」が叫ばれ、私たちは、本当の「共生社会」とは何かをそれぞれの立場で問い直し、障がい者の方々が、自身のライフスタイルが尊重され地域で生き生きと生活できることや、障がいの特性に応じ最大限活躍できる環境を整備するという総合支援法が掲げる主旨を具現化することが早急に求められています

本大会は、当たり前が当たり前の社会を実現し、障がい福祉サービスの「質」が評価されるであろう報酬体系への盤石な対応も含め、中・長期的課題とその対応等について、東海北陸各県の社会就労センター関係者が一堂に集い、研究協議することを目的として開催します。

2. 主催

- 東海北陸ブロック社会就労センター協議会
- 三重県社会就労センター協議会
- 社会福祉法人三重県社会福祉協議会

3. 後援

- 三重県（予定）・津市（予定）
- 社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会

4. 期 日

令和7年12月4日（木）～5日（金）〔2日間〕

5. 会 場

アストホール（アスト津4階）
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地（津駅東口）

6. 参加対象者

参加予定人員 120名

参加者の範囲

- ①東海北陸6県の社会就労センターにおいて就労関係（就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援）事業、生活介護（生産活動）事業、地域活動支援センター（生産活動）、自立訓練事業、を運営している事業所に勤務する役職員
- ②東海北陸6県の行政職員及び社会福祉協議会役職員等
- ③セルフセンター会員

7. 参加費等

<input type="checkbox"/> 参加費	会員施設・事業所	1名につき	7,000円
	未加入施設・事業所	1名につき	8,000円
<input type="checkbox"/> 情報交換会費		1名につき	9,000円
<input type="checkbox"/> 宿泊費			(別添宿泊ホテル選択)

8. 情報交換会会場

プラザ洞津2階 「飛翔の間」（17:30～受付 18:00開始）
〒514-0042 三重県津市新町1丁目6-2
近鉄 津新町駅より徒歩2分
無料駐車場有り（85台）

9. 日 程

【第1日目 12月4日（木）】

時 間	内 容
11：10～12：00	シンポジウム関係者打合わせ
12：15～12：45	受付
12：45～13：05	開会式 開会宣言・主催者挨拶・来賓挨拶
13：05～13：15	休憩
13：15～14：45 (90分)	基調報告 中央情勢報告 「セルフ協に今求めるものは」 全国社会就労センター協議会会長 叶 義文 氏
14：45～15：00	休憩
15：00～16：30 (90分)	【記念講演】 テーマ「人生の収穫～善も悪もまぜこぜでいい～」 講師：社会福祉法人素王会 理事長 今中 ^{ひろし} 博之氏 聞き手：社会福祉法人維雅幸育会 理事・統括管理者 奥西 利江 氏
16：30～	「情報交換会」会場説明など

【第2日目 12月5日（金）】

時 間	内 容
9：00～ 9：15	受付
9：15～10：15	「みんなでおさらい 就労選択支援事業」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官 荒井 康平 氏
10：15～10：30	休憩・移動

<p>10：30～12：00 (90分)</p>	<p>【ミニシンポジウム】 <u>シンポジウム①</u> テーマ「就労選択支援事業をスタートさせてみて」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障がい福祉課 就労支援専門官 荒井 康平 氏 新潟県社会就労センター協議会 会長 寺口 能弘 氏 コーディネーター 全国社会就労センター協議会 副会長 松村 浩 氏</p> <p><u>シンポジウム②</u> テーマ「これが働く暮らすを支えるポイント」 ～生活支援員の実践をとおして～ 日中事業所生活支援員 <お菓子工房M 瀬田 雄也氏> 障害者就業・生活支援センター生活支援員 <名古屋ライトハウス 水野 泰樹氏> グループホーム生活支援員 <福井県より調整中> コーディネーター 社会福祉法人維雅幸育会 理事・統括管理者 奥西 利江 氏</p>
<p>12：00～12：10</p>	<p>休憩</p>
<p>12：10～12：20</p>	<p>閉会式 次期開催県（石川県）挨拶 主催者閉会挨拶</p>
<p>14：00～16：00</p>	<p><u><オプション研修></u> 「一般就労へのひとつの道筋」 施設外就労の実践、福祉的学びの場の見学と専門官との意見交換 ・視察先 株式会社ミルボン（三重県伊賀市） ・ふっくりあホイスコーレ（三重県伊賀市） ※ご参加の方には「社会福祉法人 維雅幸育会」より改めてご連絡 を入れさせていただきます。</p>

【記念講演講師】

今中 博之(いまなかひろし 1963年5月31日 -)

1963年生まれ。ソーシャルデザイナー。社会福祉法人 素王会 理事長。インカーブ（旧アトリエ インカーブ）代表。大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）センター 招へい教授。金沢美術工芸大学 非常勤講師。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：文化・教育委員会委員、エンブレム委員会委員。厚生労働省・文化庁：障害者の芸術文化振興に関する懇談会構成員、障害者文化芸術活動推進有識者会議構成員。イマナカデザイン一級建築士事務所 代表（一級建築士）。100万人に1人の障がい・偽性アコンドロプラージア（先天性両下肢障がい）がある。1986年～2003年、株式会社乃村工藝社デザイン部在籍。企業ショールーム、国際博覧会などのデザインにとどまらず、介護・医療施設、児童施設、障がい者施設などのディレクション活動を展開。20

02年に社会福祉法人 素王会 理事長に就任。知的に障がいのあるアーティストが集う「インカーブ」を設立。アーティストの作品を国内外の美術館やギャラリー、アートフェアに発信する。ソーシャルデザインや人権にかかわる講演多数。グッドデザイン賞（Gマーク・ユニバーサルデザイン賞）、ディスプレイデザインアソシエーション（DDA）奨励賞、ウィンドーデザイン通産大臣賞など受賞多数。著書に『悪人カー逆説的教育論』（河出書房新社）、『なぜ「弱い」チームがうまくいくのか』（晶文社）、『アトリエ インカーブ物語ーアートと福祉で社会を動かす』（河出文庫）、『壁はいらない（心のバリアフリー）、って言われても。』（河出書房新社）、『社会を希望で満たす働きかたーソーシャルデザインという仕事』（朝日新聞出版）、『観点変更ーなぜ、アトリエ _インカーブは生まれたか』（創元社）、共著に元厚生労働事務次官 村木厚子氏との『カッコいい福祉』（左右社）などがある。

インカーブ <https://incurve.jp/>

10. 参加申込み方法

参加、宿泊等お申し込みの受け付けは「名鉄観光サービス(株)津支店」が行います。別添の「申し込みのご案内」をご参照のうえ、必要事項を記入いただきお申し込みください。

***申込締切日 令和7年10月末日（金）**

【参加・宿泊等の問い合わせ先】

名鉄観光サービス株式会社 担当：松田
〒514-0004 三重県津市栄町3丁目141-1 モアビル5階
TEL：059-225-7676 FAX：059-225-7633

11. 会場アクセス

アスト津 アクセス

徒歩 津駅から徒歩1分(津駅東口)

車でお越しの方 伊勢自動車道 津ICから約10分

電車でお越しの方 近鉄難波駅から約1時間35分

近鉄名古屋から約50分 JR名古屋駅から約50分

12. 個人情報の取扱い

- (1) 「申込書」にご記入いただいた個人情報につきましては、申込受付等委託業者（名鉄観光サービス）と三重県社会就労センター協議会事務局で共同利用させていただきます。
- (2) 個人情報は、申込受付、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供など、大会運営に必要な範囲で使用いたします。
- (3) 参加者の把握、交流に資するため、「申込書」をもとに参加者名簿（都道府県、参加者氏名、施設・事業所名、施設・事業種別、役職、参加分科会等を記載）を作成し、当日参加者に配布いたしますのでご了承ください。

13. 大会の内容に関する問い合わせ先（事務局）

三重県社会就労センター協議会 担当：北林

TEL：059-255-1102 FAX：059-255-1103

e-mail: s_garden1993@bell.ocn.ne.jp